

はじめてのスペイン語講座

第14回 比較の表現について②



Hola. みなさん、こんにちは!

前回に引き続き、今回も比較の表現について、勉強しましょう!

前回のスペイン語講座では、2つのものを比べてその優劣について述べる、「比較級」の「優等」、「同等」、「劣等」について学習しましたね。

今回は、3つ以上のものを比べる場合に使われる、「最上級」の「優等」と「劣等」についてです! 前回と同様、作り方を覚えれば簡単です。それでは、最上級の作り方について、1つずつ見ていきましょう。

- ① 上でも、述べた通り、『(3つ以上のものの中で、)最も～である』と言うために使われるのが『最上級の優等』、『(3つ以上のものの中で、)最も～でない』と言うために使われるのが、『最上級の劣等』です。前回学習した「比較級」の作り方と似て非なるものですので、混同しないように気をつけましょう。

#1

APRENDE 覚えましょう!

「最上級」の「優等」と「劣等」を作るためには「定冠詞 (EL/LA)」を使います。以下をご参考ください。

<優等比較>

[el / la más ~ de -] 『ー のなかで最も～だ』

<劣等比較>

[el / la menos ~ de -] 『ー のなかで最も～でない』

比較級の場合は、『～の』部分には形容詞、副詞、名詞のいずれかが入りましたが、最上級の場合は、形容詞のみが入ります。

例 Él es el más alto de la oficina.

彼はオフィスのなかで最も背が高い。

Ella es la menos gorda de la familia.

彼女は家族のなかで最も太っていなさい。
(=彼女は家族のなかで最もやせている。)

左上の絵を見て下さい。ホセさんと彼のクラスメート達が立っていますね。ホセさんは、クラスで一番の秀才なので、「最上級の優等」を使って以下の表現ができます。

※形容詞 “inteligente” は、男性形・女性形が同じですが、変化する形容詞の場合は、定冠詞同様、主語に合わせて男性形を使用。

例 José es el más inteligente de la clase. ホセさんは、クラスのなかで最も頭が良いです。

※主語 (男性) に合わせるために、定冠詞は “el” を使用する。

※比較級の場合には、“que ~” (『～よりも』) と比較対象を表しましたが、最上級の場合には、“de ~” (『～のなかで』) を使用します。

次に、左下の絵に移りましょう。

マリさんが、オフィスで仕事をしていますね。他の人はおしゃべりしているのに、マリさんだけは黙って仕事をしています。こんな場合は、「最上級の劣等」を使って表すと、以下のようになります。

※形容詞 “habladora” も、定冠詞同様、主語に合わせて女性形を使用。

例 Mari es la menos habladora de la oficina.

※主語 (女性) に合わせるために、定冠詞は “la” を使用する。

マリさんは、オフィスのなかで最もおしゃべりではありません。
(=マリさんは、オフィスのなかで最も無口です。)

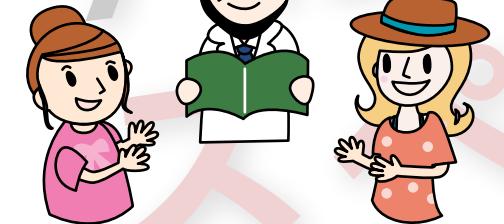
「最上級の劣等」を日本語に訳す場合ですが、上の例文の〈la menos habladora〉の部分をそのまま翻訳すると、「最もおしゃべりでない」となります。

また、『おしゃべりな、話し好きな』の反対の意味の言葉には、例えば『無口な』とか『物静かな』などがありますので、上のように、「最もおしゃべりでない=最も無口である」といったように言いかえてしまっても、文章が意味するところに大きな差はありません。

そして、最上級を使った文章では、注意しなければならないことが 2 点あります。

まず、〈más〉または〈menos〉の前に、定冠詞 (elまたはla) を付ける必要があります。主語が男性名詞であれば “el”、女性名詞であれば “la” を用い、その後にくる形容詞も、それに合わせて、男性形または女性形に変化させる必要があります。

もう 1 点は、比較級の場合には『～よりも』と比較の対象を表す際に “que ~” を使っていたのに対し、最上級の場合には、『～(の中) で』を表す “de ~” を使わなければなりません。



José es el más inteligente de la clase.

ホセさんはクラスのなかで最も頭が良い。



Mari es la menos habladora de la oficina.

マリさんはオフィスのなかで最も無口です。

② 次は、①で習った事をふまえて、『(主語)は一のなかで最も～な(名詞)です。』も覚えてしまいましょう。

APRENDE 覚えましょう！

<優等比較>

[el / la <名詞> más ~ de -] 『一のなかで最も～な<名詞>だ』

<劣等比較>

[el / la <名詞> menos ~ de -] 『一のなかで最も～でない<名詞>だ』

例 El Quijote es el libro más conocido de la literatura española.

ドン・キホーテはスペイン文学のなかで最もよく知られた本だ。

El miércoles es el día menos ocupado de la semana.

水曜日は、週のなかで最も忙しくない(=最も暇な)日だ。



右の絵を見て下さい。言わずと知れた、日本一高い山、富士山ですね。この場合、上で学んだ文章を使って、下のような表現ができます。

*主語のEl monte Fujiは男性名詞ですが、山は女性形です。

例 El monte Fuji es la montaña más alta de Japón. 富士山は、日本で最も高い山です。
富士山(男性形) 山(女性形)

*この場合、形容詞はすぐ前にくる名詞にかかるため、主語ではなく、直前の名詞の性に合わせて変化します。

文の作り方は、①とほぼ変わらないので、覚えやすいですね。但し、上の例のように、主語(例文ではEl monte Fuji)とその後にくる名詞(例文ではla montaña)の性が異なるときには、少し気をつけて下さい。上の文では女性名詞“la montaña”にかかっているのが、形容詞“alta”になります。

③ 最後に、少し違ったタイプの最上級を見ておきましょう。『絶対最上級(superlativo absoluto)』と呼ばれる形です。今回勉強した①、②と違うのは、『絶対最上級』には比較の対象がないことです。



APRENDE 覚えましょう！

<絶対最上級の作り方>

[<形容詞> + -ísimo / -ísima / -ísimos / -ísimas]

例 Este libro es interesante. → Este libro es interesantísimo.

この本は、面白い。

この本は、非常に/最高に面白い。

Estas películas son buenas. → Estas películas son buenisimas.

これらの映画は良い。

これらの映画は非常に/最高に良い。

『非常に/最高に～だ』

絶対最上級は、形容詞だけでなく副詞にも使うことができます。

例 Ella trabaja muchísimo.
彼女は非常に働く。
但し、副詞の語尾に付けるは-ísimoのみになり、変化はありません。

上記の様に、形容詞が男性形・女性形また、単数・複数に応じて -ísimo (男性形単数) / -ísima (女性形単数) / -ísimos (男性形複数) / -ísimas (女性形複数) を語尾に付けて絶対最上級を作ります。

* “La casa de Mari”は女性名詞単数なので、“Grande”は以下の様に変化します。

例 La casa de Mari es grandísima. マリさんの家は、非常に大きいです。
grande → grandísima.

上のような形で1つ注意して欲しいのは、上記の文章を更に強調する為に、“grandísima”的前には“muy”をつけられないということです。☞ ✗ La casa de Mari es muy grandísima. (muy grande / grandísimaのいずれかを使う。)

un descanso....

《最上級とQUEについて》

今回は、最上級について学んできましたが、前回の内容と合わせて、<比較級+QUE>と<最上級+DE>の図式ができあがったのでは無いでしょうか。

しかし、<最上級+QUE>は存在しないのかというと、そんなことはなく、実は<最上級+QUE>をとることもあるのです。では、<DE>と<QUE>は何が違うのでしょうか？

次の2つの文章を見比べてみましょう：

1. Mi padre es la persona más fuerte de la familia. (私の父は、家族のなかで一番
↑家族(名詞) 強い人です。)

2. Mi padre es la persona más fuerte que yo conozco.

↑私が知っている(文章)

(私の父は、私が知っているなかで一番強い人です。)

上の1,2とも正しい文章です。<de>と<que>の後に注目して下さい。<de>の後には、名詞<la familia>が、<que>の後には、<yo conozco>という文章が来るので、<de+名詞>、<que+文章>と覚えておきましょう。その他、以下のような表現ができます。

- Este es el libro más interesante que he leído.

(これは、私が今まで読んだなかで一番面白い本だ。)

<que>を使う最上級は、文章の構造が複雑になるので、少し難しいです。また、比較級の<que>と最上級の<que>は同じ単語であっても、文法上の性質は異なります。ただ、今ところは焦らずに、こんな使い方もあるのだということだけ理解しておいて下さいね。



ADELANTE

www.adelante.jp

- 一般・旅行・商業・DELE検定対策・プライベートなどの目的やペースに合わせて選べるコース
- ネイティブ講師だからこそ留学気分で自然なスペイン語がマスターできる!
- 振替ができるので忙しくても安心!
- 月謝払いOK!
- 無料体験レッスン、教室見学等☆随時受付中

スペイン語教室 ADELANTE
〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館2F
TEL: 06-6346-5554 • FAX: 06-6110-5122
E-mail: info@adelante.jp • http://www.adelante.jp

イラスト：田中 文子